

自分の口座への送金

送金方法や 仕訳・手数料の 扱い早見表



※ 本資料は参考情報であり、法令等への適合性や内容の正確性・完全性について、一切保証するものではありません。
制度の適用にあたっては、必ず公的資料等をご確認ください。

※ 本資料の情報は、2026年6月作成時点のものであり、変更される可能性があります。
ご利用の際は、必ず最新情報を公的機関にてご確認ください。

「振込」と「振替」

同じ名義でも扱いが変わる

同じ名義の口座でも、**銀行が異なれば「振込」扱い**となります。他人宛と同じ手数料体系が適用されます。**同一銀行内の同一名義口座間なら「振替」**となり、多くの場合無料・即時反映です。

	振込(他行宛)	振替(同行内)
手数料	有料(金額・方法で変動)	原則無料
反映時間	即時～翌営業日	原則即時
対象	異なる金融機関	同一金融機関

送金方法別の特徴と手数料の目安

※ 手数料は2026年1月時点の主要都市銀行・ネット銀行の目安です。最新の料金は各行公式サイトでご確認ください。

送金方法	振込(他行宛)	メリット	注意点
窓口	約880～990円	対面で安心、確実性が高い	平日営業時間のみ
ATM	約220～440円	現金振込にも対応	時間帯で手数料が変動
ネットバンキング	約75～150円	自宅で完結、24時間操作可	初回設定が必要
銀行アプリ	約75～150円(割引あり)	外出先でも手軽、生体認証対応	アプリの事前インストールが必要

口座間送金の帳簿の付け方

個人・個人事業主・法人別のポイント

自分の口座間の資金移動でも、会計上は正しい仕訳が必要です。立場によって勘定科目が異なるため、以下を参考にしてください。

事業用口座同士の資金移動

■ 事業用口座同士の資金移動

法人・個人事業主共通

※ 振込手数料は「支払手数料」で計上します。消費税の課税区分は「課税仕入 10%」です。

借方科目	金額	貸方科目	注意点
普通預金（B銀行）	100,000円	普通預金（A銀行）	100,330円
支払手数料	330円		

■ 事業用⇄プライベート用の資金移動

個人事業主

個人事業主の場合、事業用口座とプライベート口座の間の資金移動には「事業主貸」「事業主借」を使用します。

資金の流れ	借方	貸方
事業用 → プライベート用	事業主貸	普通預金
プライベート用 → 事業用	普通預金	事業主借

※ 事業主勘定は税区分「対象外」となり、消費税はかかりません。振込手数料は事業に関係する場合のみ経費計上できます。

手数料を抑える3つの実践テクニック

銀行の無料回数を最大限活用する

給与受取や残高条件を満たすだけで、毎月数回～十数回の他行振込が無料になる銀行があります。定期的に条件を見直しましょう。



定額自動振込で回数を減らす

毎月の資金移動を自動化すれば、無料枚を効率よく使えます。送金忘れの防止や家計管理にも有効です。



ネット銀行をサブ口座に持つ

ネット銀行の多くは他行振込の無料回数が充実しており、無料枠終了後の手数料も低水準です。



送金エラーを防ぐためのチェックリスト

名義の表記を正確に確認する	姓と名のスペース、全角・半角の違い、旧字体・新字体の使い分けなど、わずかな相違でもエラーになる場合があります。通帳やアプリで事前に確認しましょう。	☐
振込限度額を事前に引き上げる	ネットバンキングやアプリの1日あたりの限度額は初期状態で低く設定されていることがあります。100万円以上の高額送金が必要な場合は、余裕をもって手続きしましょう。	☐
登録情報を定期的に見直す	口座番号の変更や名義変更があった場合、振込先の登録情報も忘れずに更新しましょう。	☐